

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5 2	日々の利用者への対応や言葉がけに対して、さらに多様な視点や気づきをもてるよう、外部の研修会にも積極的に参加する機会を持つことを期待したい。	外部機関主催の研修会への参加は勤務調整が開催時間帯の都合上、積極的な参加は難しい状況のため、キャリア形成訪問事業を活用し資質向上に取り組む。	現在、職員に必要な研修や職員が疑問、不安に感じていることについて外部による講師を招き勤務時間外で可能な限り職員が参加できるよう調整を行い資質向上を目指す。	随時
2	6	利用者、家族の意見を聞き取るように努めているが、利用者、家族の意見をより一層ホームの運営に反映できるよう、日頃から把握した利用者の声を取りまとめて検討したり、家族交流会等での意見交換の場を設けるなど、さらなる取り組みを期待したい。	利用者や家族の意見をより運営に反映する取り組み。	利用者や家族の意見、要望ならびに日常コミュニケーションを図る際に聞かれた、直接的な声を取りまとめることができるよう、利用者ごとにに関するファイルを作成し、検討できるよう取り組んでいる。	随時
3	9	今後は把握された利用者の思いや意向を集積するノート等を整備し、今まで以上に職員間で情報を共有することで更に利用者の思いや意向に気づくことができるのではないか。	個別の意見や希望、要望を集約するためのファイルを作成し、全職員が活用できるよう検討会を開催する。	情報を共有できるファイルを作成し毎週開催している「業務改善会議」の際に検討しサービス提供の資質向上に役立てる。	随時
4	9 2	利用者の生活歴や昔の得意なこと、好きなことを現在の生活でも可能な限り実践することで、その人らしい生活が実現できると考えられる。利用者に関する情報を職員間で共有化する仕組みの整備を期待したい。	利用者ごとの情報を明確化するためにセンター方式で活用しやすい資料を抜粋し、情報を集約する。	利用者ごとに昔の暮らしぶりや趣味、得意なことや興味を持ってそうなこと、食生活やこれまでの人間関係等の情報把握につとめ、今後ホームで生活を送るにあたり状態が変化した場合には、担当の職員がいつでも変化の情報を記入できるようケースファイルに綴りその都度、検討することでサービスの資質向上に役	随時
5					ヶ月